

町政執行方針

地

方財政は、国の急速な構造改革の影響を大きく受け、加えて景気回復が広がりがない段階では、都市との地域格差があきらかで、多くの地方自治体では、極めて厳しい財政状況がいまだ続いており、なお一層の行政改革の着実な推進のもとに財政構造の早期転換に向けた取り組みを進めている実態にあります。

町の歳入については、町税は定率減税の廃止や税源移譲などで増額となりますが、地方交付税などの主要一般財源が縮減傾向にあることから、財源の構造的には依然厳しい状況にあります。



町政執行方針を述べる尾岸町長

このような財政環境で、新たな分権時代に向け、行政改革実施計画の目標である、基金に依存しない財政構造への転換を図るために、事務事業ごとにさらなる検証を加え、「選択と集中」による効率的な行政執行に努めるとともに、町民の皆さんや民間団体と行政が、今まで以上に責任と役割を分担しながら、協働による新しい仕組みによる、まちづくりを推進していかねばなりません。

このことから本年度の予算編成では、予算枠を課単位に配分する、予算枠配分方式を導入して、各課の自主性・自立性の確保と職員の自治体経営意識の醸成を図ったうえで、政策の観点から総合的な判断を加えた予算編成を行いました。

この厳しい状況の中で、財政の安定化に向けた諸課題を、町民の皆さんをはじめ地域の民間団体の皆さんと行政が協働して乗り越え、将来に希望の持てる、真の豊かさを実感できるまちづくりを推進することが、私に課せられた責務であることを改めて強く認識し、今後の行政運営にあたりますので、町民皆さん並びに議員皆さんの特段のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



教育行政執行方針を述べる中澤教育長

教育行政執行方針

教

育の分野におきましても、教育基本法の改正やゆとり教育の見直し、また教育委員会制度のあり方など、教育改革に関する議論が本格化してきています。それは、次代を担う子どもたちが倫理観や規範意識を確実に身につけ、学力と人格を磨き、健やかな心身をもって、21世紀の社会に大きく羽ばたいてほしいと願う心からです。

本町におきましては、子どもたちが輝くまちづくりを進めるため、国の教育の進むべき方向や、そのあり方の動向を注意深く見守るとともに、命を大切にする心や思いやりの心、自らを律

する心などの「豊かな心」と「確かな学力」、そしてたくましく、生きる力を持つ子どもたちの育成に努めていきます。

また、学校の危機管理や、いじめ問題など、子どもたちに係わり、全国的に憂慮すべき問題が発生し、緊急の課題となっています。中でも「いじめ」の問題については、いじめは絶対に許さないという強い意志のもと、学校、家庭はもとより、地域の協力・連携により命を大切にする教育を充実し、いじめの根絶を図ります。

教育委員会としては、教育に関する今日的な課題に対応するため、平成19年度の重点推進項目として、「あいさつ運動」と「早寝、早起き、朝ごはん運動」に取り組み、人と人との心のつながりを深め、子どもたちの望ましい基本的な生活習慣の育成を図っていきます。

未来を担う人材を育成するため、教育・文化・スポーツの振興を図り、子どもたちが心身ともに健やかに育ち、激動の時代にあっても夢や希望に向かってたくましく生き抜く力を育む施策の充実に全力で取り組んでいきます。

平成19年度 町の全会計の予算総額は113億7,776万円

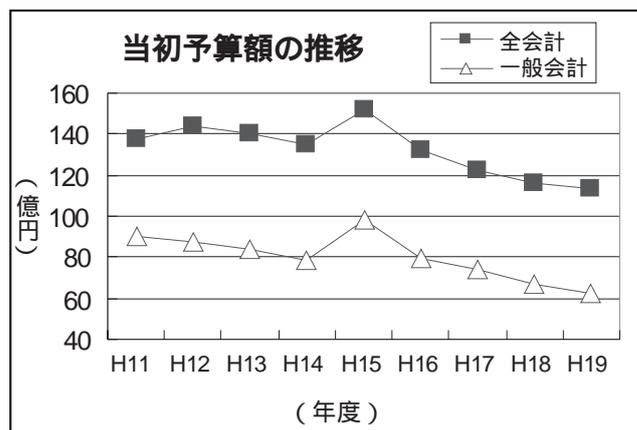


第4次上富良野町総合計画（平成11～20年度）の最終段階を迎える現時点では、流動的な地方交付税や少子高齢化・人口減少などにより、財政環境の先行きが不透明な状況にありますが、国の動向などを十分見極めながら総合計画に掲げた「四季彩のまち・かみふらの～ふれあい大地の創造」の可能な限りの実現に向けて最大限の努力をしております。

平成19年度上富良野町各会計予算

（単位：万円）千円単位四捨五入しています

会計名		平成19年度	平成18年度	比較	対比
一般会計合計		62億5,000万円	67億1,800万円	4億6,800万円	7.0%
特別会計	国民健康保険特別会計	13億7,149万円	11億5,963万円	2億1,186万円	18.3%
	老人保健特別会計	11億6,579万円	11億5,467万円	1,112万円	1.0%
	公共下水道事業特別会計	3億6,100万円	3億5,830万円	270万円	0.8%
	簡易水道事業特別会計	8,720万円	9,678万円	958万円	9.9%
	介護保険特別会計	6億5,400万円	6億6,940万円	1,540万円	2.3%
	ラベンダー・ハイツ事業特別会計	2億7,400万円	2億9,400万円	2,000万円	6.8%
特別会計合計		39億1,347万円	37億3,277万円	1億8,070万円	4.8%
公益企業会計	病院事業会計	8億9,920万円	9億1,218万円	1,298万円	1.4%
	水道事業会計	3億1,509万円	2億8,704万円	2,805万円	9.8%
公営企業会計合計		12億1,429万円	11億9,921万円	1,508万円	1.3%
総合計		113億7,776万円	116億4,998万円	2億7,221万円	2.3%



町民と『協働』によるまちづくり

ふれあいの大地の創造

人

豊かな心の人のまち

少子高齢化を迎え、保健・医療・福祉・教育の充実を図り、一人ひとりが健康で、生きがいのあるまちづくりを進めます。

【福祉のまちづくり】

社会福祉・地域福祉の推進
 高齢者福祉の推進（地域包括支援センターの機能充実、在宅福祉事業・介護・医療・地域生活支援の推進）
 障害者自立支援事業の推進
 ラベンダーハイツ施設整備（暖房ボイラー等の更新）
 子どもセンターの運営（子育て支援センター・発達支援センターによる子育て支援、療育の推進）



【健康のまちづくり】

健康増進の推進（各種健診による生活習慣病の予防活動・学習活動体制の整備）
 母子保健事業の充実
 国民健康保険事業・老人保健事業の安定的な運営
 国保ヘルスアップ事業の推進
 町立病院の経営改善の検討

【生涯学習のまちづくり】

私立幼稚園への支援
 中央保育所の整備（屋上防水）
 小・中学校施設・教育施設の整備
 特別支援教育の推進（特別支援教育助手の配置）
 学校給食の充実（配送車の更新）
 上富良野高校の存続要望運動の推進
 児童福祉の推進（放課後プラン）
 社会教育の推進（公民館講座・図書館の充実、スポーツ教室等の開催）

【豊かな人材のまちづくり】

多世代交流センター（旧東中保育所・旧清富小学校）の有効活用
 地域間交流・国際交流の推進（津市・カムロース市）



職

活力ある産業のまち

農林業、商工業の振興を推進し、地域の特性を生かした活力あるまちづくりを進めます。

【農業のまちづくり】

日豪FTA交渉における農畜産物の関税撤廃阻止運動の推進
 農業生産基盤等の整備（道営事業、演習場周辺農業用施設等）
 農業経営安定対策の推進（品目横断的経営安定対策の推進、農地・水・環境保全向上対策事業の推進・奨励作物振興事業の推進）
 有害鳥獣駆除対策の推進（狩猟免許取得の助成）

【森のまちづくり】

森林の育成整備（人工造林・除間伐・下刈ほか）

【商業・工業のまちづくり】

商業振興事業の推進
 中小企業への事業資金融資

【観光のまちづくり】

富良野・美瑛広域観光事業等による観光客誘致
 地域観光イベント等への支援

住

住みよい快適なまち

生活環境などの居住環境を整備し、安全でゆとりあるまちづくりを進めます。

【美しいまちづくり】

かみふらの景観づくり基本計画の策定

【潤いのあるまちづくり】

見晴台公園の有効活用・運営
富町団地町営住宅の整備

【快適なまちづくり】

生活水の安定供給
下水道浄化センター設備等の維持管理
ゴミ減量化・ゴミ分別の推進
クリーンセンターの安定稼働と適正な維持管理
合併浄化槽設置への助成



【安心のまちづくり】

地域安全の推進（関係機関等との連携）

交通安全の推進・啓発

住民相談窓口の充実（消費生活相談、法律相談）

町国民保護計画の推進

自主防災組織の再編成支援による地域防災力の強化

消防機能の強化（高所救助作業車の導入）

除排雪の実施

【広がりのまちづくり】

道路・橋梁の整備と適正な維持管理

町営バスの運行（通勤・通学、生活路線の確保、老朽車両の更新）

共

共に創るまち

町民参加による協働のまちづくりを進めます。

【住民のまちづくり】

まちづくりを進める基本ルール「（仮称）自治基本条例」の制定

協働によるまちづくりの推進（「広報かみふらの」、「防犯かみふらの」、「行政ホームページ」、「出前講座」などによる情報提供）

広聴活動の推進（パブリックコメント、まちづくりトーク、町長と語るうの実施）

自治活動の推進（住民自治活動推進交付金・自治活動奨励事業補助金による自治活動の奨励）

自治活動の推進（住民自治活動推進交付金・自治活動奨励事業補助金による自治活動の奨励）



【行政のまちづくり】

第5次町総合計画の策定

行財政改革実施計画の着実な推進

行政組織機構改革による効率的な行政運営（10課22班体制に改編）

指定管理者制度による効率的な行政運営の推進

納税環境の改善及び税收の確保（コンビニ収納システム整備、行政サービスの制限措置条例の適正運用）

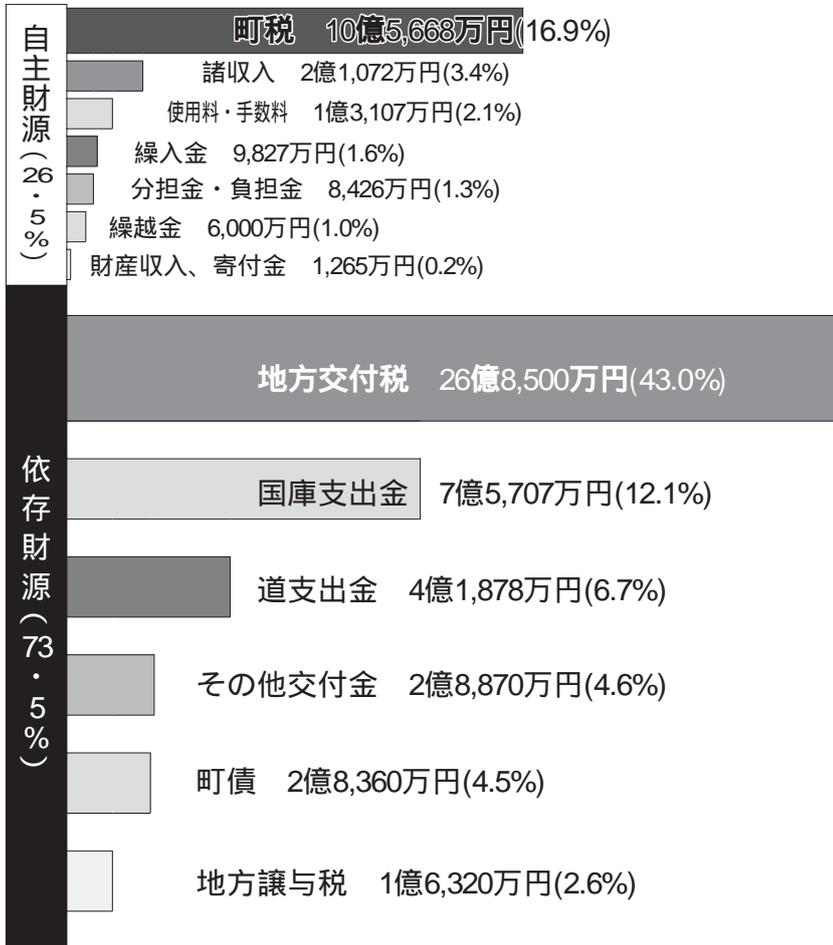
広域連合の検討（富良野広域連合準備委員会による一部事務組合・国保・介護保険など）

陸上自衛隊上富良野駐屯地の現状規模堅持に向けた要請活動の展開（自衛隊関係協力団体との連携）

です (前年対比 7.0%)

平成19年度予算が、3月議会で審議され決定しました。
 予算は、これから1年間のまちの『お金の使い道』であり、
 私たちのまちづくり、暮らしのための身近なお金です。
 本年度の予算の特徴と主な使い道についてお知らせします。

収入



グラフの()は、予算構成比です。

歳入の内容	
町税	<p>町民の皆さんが、納めている税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などがあります。町税は町自ら調達できる自主財源の一つで、町が自主的な行政活動をするための基礎となる財源です。</p> <p>町民1人あたり 86,000円</p>
繰入金	<p>財源調整のためや公共施設整備などその目的にあった事業を行うために、町が積み立てている基金(貯金)からの取崩金です。</p> <p>町民1人あたり 8,000円</p>
地方交付税	<p>自治体間の財源の不均衡を調整し、全ての自治体が一定水準の行政レベルを維持できるよう国が集めた国税の一定割合が地方自治体に交付されます。本町の歳入の構成は地方交付税の割合が高いため、国の財政政策に影響されやすい財源構造となっています。</p> <p>町民1人あたり 219,000円</p>
国庫支出金 道支出金	<p>特定の事業の経費に充てるために、国や北海道から交付される補助金や負担金のことです。国庫支出金の中には、本町に自衛隊駐屯地や演習場があることにより交付される防衛省関係補助金が総額で5億8,464万円含まれています。(7頁別表参照)</p> <p>町民1人あたり 96,000円</p>
町債	<p>施設の建設や土木工事など、多額の経費を必要とするときの国や金融機関からの借入金です。</p> <p>町民1人あたり 23,000円</p>

基金(貯金)残高

平成19年度末予定

基金の種類	金額
財政調整基金	5億2,318万円
減債基金	4億6,290万円
公共施設整備基金	2億 290万円
農業振興基金	2,206万円
十勝岳地区開発事業基金	5,942万円
科学技術奨励賞基金	533万円
国内外交流推進基金	8,666万円
国営土地改良事業負担金基金	2億4,007万円
子ほめ基金	546万円
地域福祉基金	1億8,500万円
一般会計合計	17億9,298万円

町債(借金)残高

平成19年度末予定

区分	残高	
一般会計	94億2,084万円	
特別会計	簡易水道事業	7億 691万円
	公共下水道事業	32億2,193万円
	ラベンダー・ハイツ事業	7,601万円
企業会計	病院事業	1億1,826万円
	水道事業	9億4,585万円
合計	144億8,980万円	

平成19年度の町の予算は、町の行政ホームページ及び町政情報提供コーナーでご覧いただけます。

詳しいことは、
総務課企画財政班

☎ 456980

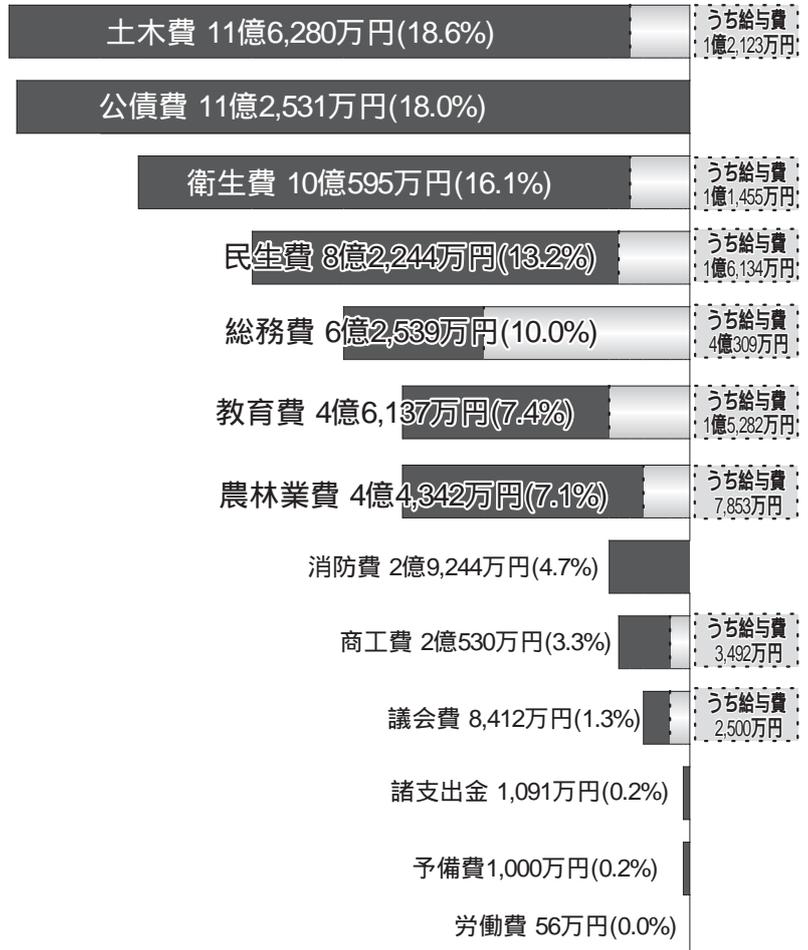
特集

平成19年度
一般会計予算額は

62億5,000 万円

支出

歳出の内容	
土木費 町民1人あたり 95,000円 【道路、河川、都市計画、公園、 公営住宅など】	
公債費 町民1人あたり 92,000円 【借金の返還金など】	
衛生費 町民1人あたり 82,000円 【健康管理、ごみ処理、上水道など】	
民生費 町民1人あたり 67,000円 【高齢者及び障がい者福祉、 子育て、保育所など】	
総務費 町民1人あたり 51,000円 【全般的な管理経費、戸籍、課税、 選挙、交通安全など】	
教育費 町民1人あたり 38,000円 【学校、社会教育、給食センターなど】	
農林業費 町民1人あたり 36,000円 【農林業の振興、農業委員会活動など】	
消防費 町民1人あたり 24,000円 【消防活動など】	
商工費 町民1人あたり 17,000円 【商工業の振興、企業誘致など】	
議会費 町民1人あたり 7,000円 【議会活動など】	
諸支出金 町民1人あたり 1,000円 【教員及び職員住宅建設に伴う返還金など】	



給与費の合計は、10億9,148万円です。
歳出グラフの中に、給与費(内数)が含まれています。

防衛省関係補助金等一覧 [一般会計分]

補助事業名	事業名	補助金額
特定防衛施設周辺整備調 整交付金事業	道路側溝整備(富原地区 他)	650万円
	消防車両購入(高所救助作業車)	3,150万円
	教育用コンピューター整備(上富良野中学校)	1,450万円
	扇町通り改良舗装	1,850万円
	セントラルプラザボイラー更新	450万円
	農産物加工実習施設ボイラー更新	450万円
防衛施設周辺民生安定施設整備事業	給食配送車購入	600万円
	演習場周辺農業用施設設置助成(農業用機械購入)	5,416万円
防衛施設周辺障害防止事 業	北24号道路舗装補修	922万円
	北24号排水路支線整備	1億4,214万円
	中の沢排水路整備	3,607万円
上富良野演習場障害防止 事業	東1線排水路整備	3,333万円
	南部地区土砂流出対策	1億2,911万円
防音事業関連維持費	演習場進入路舗装補修	9,218万円
	騒音防止対策事業関連維持費 (保育所、小・中学校の電気料)	244万円
合 計		5億8,464万円

町民1人当たりの額は、平成19年3月31日現在、
12,270人で算出しています。(千円未満四捨五入)

厳しさを増すまちの台所事情

『緊縮型』

4年連続で前年対比減の一般会計の予算額は、62億5千万円で、前年対比7.0%の減(4億6千8百万円減)で、平成16年度から4年連続で前年度予算を下回る「緊縮型予算」としました。

本年度の予算の特徴は、歳入(収入)では、町税が前年度より約1億5千6百万円の増となっていますが、これは国の「三位一体改革」によるもので、税源が国から各市町村に移譲された結果、自主財源である町税が増えました。皆さんが今まで所得税として国に納めていた税金の一部が、町に町税として納めていただくようになり、従来から各市町村へ交付されていた所得課税が廃止されました。

一方、歳出(支出)では大型事業(営事業負担金一括償還、道路・橋梁整備、見晴台公園整備など)が終了したことや行財政改革により人件費をはじめとする各経費の縮減を図ったことで、ほとんどの支出科目において前年度より減額となりました。

その中で新規事業としては、教育関連で上富良野中学校の「教育用コンピュータ整備」、「上富良野小学校・中学校の整備」、放課後児童の安全な居場

所づくりのための「放課後プラン」、農業関連では、農地・水路・農道等の維持・長寿命化を目的とした共同管理活動支援として「農地・水・環境保全国上対策」を、また、利便性を高めるためコンビニで納税できる「コンビニ収納システム」を導入するなどの予算措置を行い、限られた財源の中で効率的な行政執行を進めていきます。

『選択と集中』による 予算編成

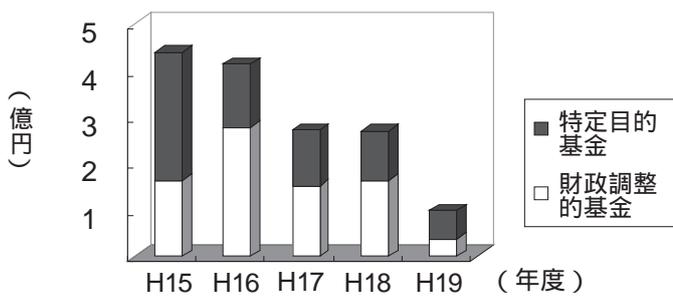
予算編成にあたっては、町の行財政改革実施計画の目標である平成20年度には基金(貯金)に依存しない収支均衡の取れた財政運営を基本に据え、予算編成に取り組みました。

今回からは従来の事務事業予算の一律削減、いわゆる「マイナスシーリング方式」を改め、新たな手法として「予算配分方式」を導入しました。

この方式は、義務的経費(人件費、公債費など)を除いた裁量的経費を対象に一定率を乗じた予算枠を各課に配分するもので、各課においてはその枠の中で、「選択と集中」により各事務事業の優先度や必要度に応じて、主体的に判断して予算を積み上げていくもの

で、職員一人ひとりが当事者意識をもって予算編成作業に参画して進めてきました。また、町長が政策判断を加え、予算化できる「政策調整枠」を新設して総合的に予算を編成しました。結果として、人件費や物件費など総的に各経費を抑制することができたことから、各種基金(貯金)の取り崩し額は、前年度より約1億7千万円減の9千8百万円とし、繰越金についても前年度より3千万円減額して収支均衡を図りました。

年度別基金(貯金)取崩し額



基金に依存しない 財政運営をめざして

本年度の予算の内容を見てみると、収入では全体の73.5%が依存財源、いわゆる国道から交付される地方交付税や補助金などで占められていることから、本町の財政構造は国の財政政策に影響されやすいしくみになっており、とりわけ地方交付税については、横ばいあるいは縮減方向にあります。

一方、自主財源である町税は収入全体の16.9%にしかならず、まだまだ景気回復による増収は見込めない状況にあり、厳しい財政状況が続くことが予測されます。

また、支出においても人件費(職員給与など)や公債費(今までの借金)など義務的経費が全体の43.7%を占めており、行政サービスに充てる経費の割合が年々少なくなってきており、財政の硬直化が進んできています。

現在、毎日のように各地の自治体の財政問題が新聞紙上をにぎわしていますが、本町においても常に危機感を持ち、行財政改革のめざす、「持続可能な財政構造への転換、基金に依存しない財政運営」の実現に向けて、引き続き着実に財政改革を進めてまいりますので、「ご理解」とご協力をお願いします。

平成19年度の行財政改革の主な見直し内容

項目	内 容		見直し予定額
行政委員会・ 附属機関等の 見直し	議員定数の削減（18人 14人、次期選挙から【平成19年8月予定】） 附属機関等の見直し（学校給食センター審議会廃止。総合計画審議会委員数【30人 15人】削減） 議員・委員旅費(費用弁償)の見直し【宿泊料・日当引下げ】 道外研修の廃止（農業委員・民生児童委員）		670万円
人件費の抑 制	退職職員の不補充、職員定数適正化計画の前倒し(214人 208人) 諸手当の見直し（期末手当加算額の凍結、管理職手当の定額化、特殊勤務手当の廃止・定額化、時間外勤務手当の縮減） 選挙投・開票事務(時間外勤務手当)の報酬化 勤務時間の見直し（週38時間45分 週40時間） 臨時職員の任用縮減、パート化		6,630万円
経常経費の 削減	旅費の見直し(宿泊料、日当引下げ) 交際費、食料費、通信運搬費、消耗品等の縮減 施設管理委託経費の縮減見直し		4,970万円
民間活力の 活用	西保育所の民間移譲 指定管理者制度による施設管理(新規：見晴台公園)		3,830万円
補助金等の 整理合理化	補助の見直し	行政推進事務交付金・自治活動推進研修事業補助・地区敬老会 交付金等（住民自治活動推進交付金へ統合移行） 明るい選挙推進協議会交付金（町選管啓発事業へ移行） 学校給食費徴収事務取扱交付金（学校給食会事業へ移行） スズメ蜂駆除費補助（全額自主駆除へ移行） 地力増進対策推進事業補助（民間団体事業へ移行） 北の大文字イベント事業補助（観光諸行事負担へ移行）	1,070万円
	補助の縮減	地域福祉推進事業補助、ボランティアの町づくり事業補助、児童 入所委託施設運営費補助、奨励作物振興事業補助、遠距離通学者 （冬季）部活動交通費補助、私立幼稚園特別活動振興補助、自主 企画芸術鑑賞事業補助、女性リーダー養成補助、スポーツ教室開 催補助、B&G体験航海派遣事業補助	
	(団体分)	町職員互助会、民生児童委員会、町社会福祉協議会、町老人クラ ブ連合会、富良野地方自衛隊協力会上富良野支部、町アグリパー トナー協議会、島津地区道営経営体育成基盤整備事業促進期成 会、町学校給食会、いしずえ大学自治会、町青少年団体協議会、 ボーイスカウト、町PTA連合会、町体育協会	
受益者負担 の適正化	緊急通報システム	介護保険料所得段階による受益者負担新設【無料 2,000～8,000円】	
	施設利用料	各公共施設使用料設定基準の是正見直し（15施設）	
徴収対策の 強化	収納環境の向上	コンビニ収納（納入）サービス導入【町税、国保税、上下水道料金】	
	徴収対策の強化	滞納者への行政サービス制限開始（58事業対象）	

平成18年度行財政改革実施計画の進捗状況については、広報かみふらの7月号でお知らせします。